

製品名: Rsk-4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17411**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	84kDa

抗原情報

遺伝子名	RPS6KA6
別名	RPS6KA6; RSK4; Ribosomal protein S6 kinase alpha-6; S6K-alpha-6; 90 kDa ribosomal protein S6 kinase 6; p90-RSK 6; p90RSK6; Ribosomal S6 kinase 4; RSK-4; pp90RSK4
遺伝子 ID	27330.0
SwissProt ID	Q9UK32
免疫原	抗血清はヒト S6K-α6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 661-710

背景

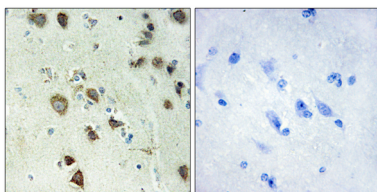
リボソームタンパク質 S6 キナーゼ A6(RPS6KA6) ホモ・サピエンス この遺伝子は、成長因子によって制御されるセリン-スレオニン

タンパク質キナーゼであるリポソーム S6 キナーゼファミリーのメンバーをコードしています。しかしながら、研究結果から、このキナーゼは成長因子に依存しておらず、同じシグナル伝達経路に関与していない可能性があることが示唆されているため、コードされているタンパク質はこのファミリーの他のメンバーとは異なる可能性があります。 [RefSeq 提供、2010年1月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。酵素調節: スレオニンおよびセリン残基の多重リン酸化によって活性化される。機能: セリン/スレオニンキナーゼは、成長因子およびストレス誘導性転写因子 CREB の活性化を媒介する役割を果たす可能性がある。PTM: 活性化プロセスの一環として、Ser-389 が自己リン酸化される。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。AGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。S6 キナーゼサブファミリー。類似性: 1つの AGC キナーゼ C 末端ドメインを含む。類似性: 2つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット: 静止細胞において ERK1 または ERK2 と複合体を形成する。分裂促進刺激により一時的に解離する。、

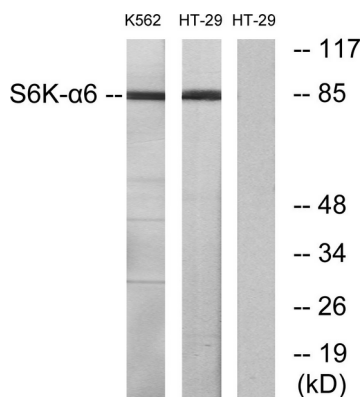
研究分野

インスリン受容体; 血管新生を調節する; mTOR; B 細胞受容体; AMPK

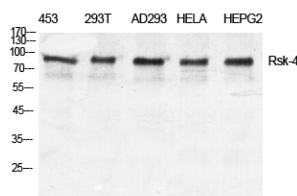
画像データ



S6K-alpha6 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



S6K-alpha6 抗体を用いた K562 細胞および HT-29 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Rsk-4 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。